

# 奈良市第3次地域福祉活動計画 令和6年度進捗管理委員会開催



日時：令和6年3月26日（水）  
10時00分から12時00分まで  
会場：奈良市役所402会議室

第3次地域福祉活動計画に関する令和6年度の進捗確認を行い、活動や支援の現状共有や今後の広がりへの課題やアイデアを共有することで、計画進捗の推進につなげるために、進捗管理委員会が実施されました。

進捗管理シートに基づく進捗管理や関連トピックスの共有のほか、協働実践を広めることをテーマにグループワークも実施され、活動計画を推進させていくためのポイントや課題等が確認されました。

## 【進捗報告とトピックスの共有】

重点項目ごとにトピックスを基に計画の進捗報告を事務局からおこなうとともに、トピックスに関連する委員から、取り組みの補足や活動の広がり、課題などの意見が補足されました。

全体を通して、「生きづらさを抱える人とのようにつながるか」「相談や暮らしの困り事からの資源開発」が、これまで・これからの進捗におけるキーワードとして整理されました。

**重点項目3-参加支援(居場所)**

**トピックス**  
駅ナカに全国初「ハローワークミニ！」開設  
THEY'S ASIA 16-172

駅ナカに駅ナカ(近鉄大和駅大守駅)と駅ナカ(近鉄白旗駅大守駅)に若狭福徳会館等の就業支援や就業準備支援を行う若狭サポートステーションを開設。  
デイケア/専門的サービスなどを併設するなど、無理なく無理なくアクセスしやすく、必要な人に必要な支援が届けられる仕組みを構築。  
ハローワークと連携し、就業支援の体制を整備する。  
いなか労働者の就業支援

**計画を実施したなかで見えてきた成果と課題**

**生きづらさを抱える人とのようにつながるか**  
・様々な活動や自分から関わることでできる居場所の確保  
・社会とのつながりや活動を支える人(ボランティア等)の継続的な養成  
・当事者と関わりのある専門職や関係機関と、こうした居場所や人材との連携の仕組みが必要

**相談や暮らしの困り事からの資源開発**  
・なんでも相談や地域の困りごとの共有の機会(車いす地域福祉活動や行政・地域・専門職のネットワーク)に展開  
・制度では対応しきれない身近な生活課題の解決に向けた動きが活発化(買い物支援や日常生活でのチャレンジ)とした困りごとの範囲に向けた生活支援活動  
・活動内容や活動者支援の施策をつけモデル実施へ

## 【グループワーク】※各グループの主な意見

テーマ：これからの活動計画での協働実践をひろげていくためのアイデア

- みまもり支援・地域づくり支援グループ  
気軽に相談できるような場や機会があればそれが見守りにつながる。それらの情報が必要な人に届くことが重要。
- 相談支援・参加支援グループ  
福祉関係者に限らない取り組みが重要。企業も含め中長期的な地域づくりの視点による協働や連携の協議や実行が重要。
- 災害支援グループ  
さまざまな立場の活動者や活動の連携や連動、ネットワーク等を日常から備えることが重要。インフラを含めてハード面の課題も大きく、その想定をすることも重要。



## 【総括 山下委員長より】

キーワード①「相談できない社会」  
関係性の問題や内面的な課題の中で、相談に対するハードルが高く社会的孤立にもつながる。どのように受け止めていくかが重要である。

キーワード②「つながりつづける」  
人は社会的存在として関係性の中で存在するものであり、その中で埋もれていく人や除外される人を受け止めるプラットフォームをどう形成するか。福祉専門職は、ジェネラリストソーシャルワークの視点で地域支援をどう進めていけるかが重要。  
計画推進に関し、計画されている数的実績を増やすことで、市域に活動を広げることが重要。

